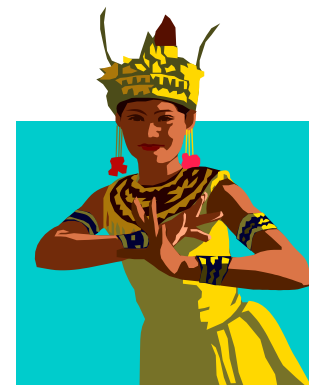
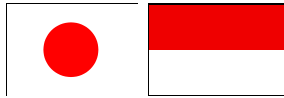


# 中国からインドネシアへの工場移転





# 自己紹介

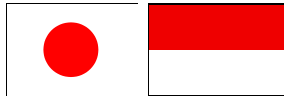


- 1975/4～1998/6 ヤマハ(株)入社 インドネシア工場立上支援部門配属
- 1998/6～1987/3 インドネシア工場生産課長 電子鍵盤楽器の組立生産
- 1987/3～1995/7 インドネシア工場長 電子楽器、ピアノ、ギターの輸出拠点化
- 1995/8～2005/3 帰国、インドネシアを普及品の生産拠点化するプロジェクト
- 2005/3～現在 ヤマハ退職、インドネシア進出サポートコンサルタントとして独立  
インドネシア語翻訳・通訳  
静岡大学客員教授、専修大学客員講師  
独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)専門家  
独立行政法人 中小企業基盤整備機構アドバイザー  
一般社団法人海外事業支援センター(OBAC)アドバイザー  
一般財団法人海外産業人材育成協会(AOTS)講師  
一般社団法人日本インドネシアビジネス協会(ABJI)理事  
などを経歴し、これまでのインドネシア進出支援企業数は約100社

インドネシアとの関わりも48年になりました



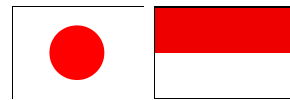
# セミナー要旨



- 中国経済は崩壊すると言われてから20年以上が経過しますが、西側民主主義国家では考えられない、独裁政権の力を発揮して、今でも強大な経済力を維持しています。
- しかし、万が一の崩壊のリスクを避けるために、中国から撤退する外資企業だけでなく、インドネシアなどに拠点を分散させる中国企業の動きも増えつつあります。
- このセミナーでは、実際に関わった経験を基に、日本企業が中国からインドネシアに工場を移転する際の、留意点を解説します。



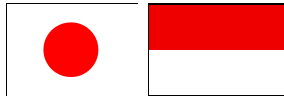
# 目次



1. 会社設立
2. 土地建物
3. 機械設備
4. 部材調達
5. 人材確保
6. 市場開拓
7. 中国とインドネシアの関係(参考)



# 1. 会社設立



## 1. 資本金

- 日本あるいは中国からの投資がある場合は、額に関係なく外国投資会社 (PMA: Penanaman Modal Asing) となり、最低投資額は100億ルピア (約1億円) となる。

## 2. 出資者

- 日本側、インドネシア側、中国側の個人または法人が株主となれる。
- 中国の現地法人が株主の一人となり、社内に留保された利益を活用するメリットが考えられる。

## 3. 事業内容

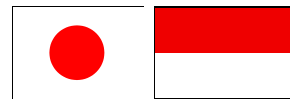
- 外資企業PMAの場合は、最低投資額100億ルピア当り一企業一事業に制限される(事業分類は[まるわかりKBLI](#)を参照)。
- 売上金額の50%以上が輸出向けの場合は、保税工場の資格を取得出来る。

## 4. 参考資料

- [成功するインドネシア現地法人の作り方](#)
- [OSSシステムでの会社設立・投資認可手続き詳細](#)
- [インドネシアで合併会社を作る](#)
- [インドネシアの会社法・投資法を読み解く](#)
- [まるわかり保税工場に関する法令](#)



## 2. 土地建物



### 1. レンタル工場利用

- 工場建屋面積が1,000㎡以下の場合は、レンタル工場が有利である。

### 2. 用地買収

- 中国の工場建屋面積を基準にする場合、インドネシアの建蔽率は60%であることに注意する。
- 用地選択に際しては、環境保護法の中でも特に、排水規制と有害物対策には留意する。

### 3. 工場建設

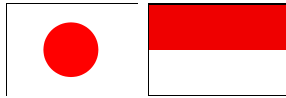
- 極端に安価な見積を提案した建設業者は避ける。
- ローカルのゼネコンに対しても、大幅に割安な建設価格は期待薄。
- 雨期の間の基礎工事は出来るだけ避ける。

### 4. 参考資料

- [上手なレンタル工場の探し方](#)
- [上手な工場用地の探し方](#)
- [インドネシア工場の環境対策](#)
- [失敗しないインドネシアでの工場建設](#)



# 3. 機械設備



## 1. 免税輸入 (Master List)

- 新規投資あるいは追加投資の場合は、投資申請の中の設備機械に該当する金額の範囲内で、輸入税(CIF×5%前後)、輸入時付加価値税(CIF×11%)、輸入時前払法人税(CIF×2.5%)が免除される。
- 但し、インドネシア国内で調達出来ない品目に限る。

## 2. 中古品輸入

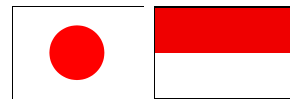
- インドネシア国内で調達が難しい機械であれば、中古品であっても輸入することが出来る。
- 但し、耐用年数が20年で、まだその年数まで到達していなくて利用価値があることを、輸出地の検査機関に証明しなくてはならない。

## 3. 調達先

- 加工機械:ほとんど輸入に頼る。
- 補助機械:コンプレッサー、空調機などは現地で購入可能。
- 金型・治具:全体の60%程度は現地調達可能:[インドネシア金型工業会](#)
- 付帯設備:コンベアなどの基本機器は現地調達可能。
- 自動機械:周辺機器は現地調達可能。



# 4. 部材調達



## 1. 現地調達部材

- インドネシアは資源に恵まれているが、工業材料に転換するための産業が未発達のため、大半の工業部材は輸入に頼っている。
- インドネシアの基幹産業と言える自動車の現地調達率は約60%。

## 2. 免税輸入 (Master List)

- 新規投資あるいは追加投資の場合は、投資申請の中の設備機械に投入される輸入材料は、当初2年間にわたり、輸入税 (CIF × 5% 前後)、輸入時付加価値税 (CIF × 11%)、輸入時前払法人税 (CIF × 2.5%) が免除される。

## 3. 中国工場からの輸入

- 上記の免税輸入制度を活用し、立上当初は既存の中国工場から部材を輸入する。
- 2年の免税期間中に、インドネシア国内での調達先を開拓する。

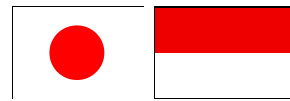
## 4. 参考資料

- [インドネシアでサプライヤーを見つける方法](#)
- [インドネシアの産業展示会で顧客を開拓するコツ](#)
- [インドネシアの企業グループ](#)
- [インドネシア特有の協同組合 KOPERASI](#)





# 5. 人材確保



## 1. 現地法人責任者(社長または工場長)

- 実務面では中国工場の経営経験者が適任である。
- しかし、中国とインドネシアの相違点は、事前に深く理解しておくことが肝要。
- インドネシア語の習得は必須である。

## 2. 製造部門幹部

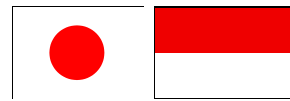
- 立上当初の3年前後は、事前にインドネシア語を勉強させた、中国人の技術者を駐在させ、インドネシア人の教育を担当させる。
- 事前に採用したインドネシア人の幹部候補社員を、操業前に中国の工場での長期研修に派遣し、技能習得と同時にインドネシア語のSOP(標準作業手順書)を作成させる。

## 3. 参考資料

- [インドネシア人材採用面接のコツ](#)
- [インドネシア材マネジメントのコツ](#)
- [インドネシア生産現場人材育成のポイント](#)
- [インドネシア語上達の実践](#)
- [インドネシア語特訓テキスト](#)
- [インドネシア語でのちょっと難しい業務会話](#)
- [業務用インドネシア語文例集205](#)



# 6. 市場開拓



## 1. 中国工場の製品販売

- インドネシア工場での生産開始が遅れた場合は、中国工場からの製品を輸入販売する。

## 2. 保税工場

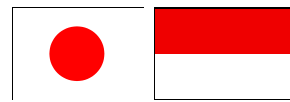
- 中国工場より低コストの場合は、中国工場向けに輸出する。
- アセアン諸国などへの製品供給基地としての役割を持たせる。
- 数年をかけて、供給拠点を中国からインドネシアに移転させる。

## 3. 参考資料

- [まるわかりインドネシアの輸入業務](#)
- [インドネシアの産業展示会で顧客を開拓するコツ](#)
- [まるわかり保税工場に関する法令](#)



# 7. 中国とインドネシアの関係(参考)



## 1. 明王朝崩壊後の華人の流入

- 1600年代後半からの満州民族侵攻による清王朝設立に伴い、漢民族が流民として現在のアセアン各地に南下し、歴史的に様々な影響を与えて来た。
- 当時からオランダ東インド会社が植民地として支配していた、現在のインドネシア各地で、華僑として根付き、主に商業分野での勢力を固めて来た。

## 2. インドネシア共産党クーデター失敗

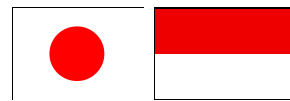
- 1965年9月30日のインドネシア共産党クーデター失敗で、独立後の初代大統領で、親中国のスカルノ氏は失脚。
- 1968年以降30年間続いたスハルト政権下では、クーデターを支援したとして、中国との国交断絶、中国語での教育と出版事業が禁止され、華人の政界および軍部への参画も不可能であった。
- しかし、人口2%前後の華人は、経済の90%を支配し、政界や軍部とも裏では太いパイプを構築して来た。

## 3. 民主化の時代

- 1998年にアジア金融危機に端を発したジャカルタ暴動で、スハルト政権は崩壊。
- 2004年以降のユドヨノ政権から本格化した、民主化と経済成長路線により、華人の活動に対する制限や規制は撤廃された。
- 2014年に就任したジョコウィ大統領の支持母体である、インドネシア闘争民主党の党首は、初代大統領スカルノ氏の長女でもあることから、ジャカルタ・バンドン間の新幹線や、電気自動車産業に見られるように、親中路線を展開して来た。

## 4. 参考資料

- [インドネシアと諸外国との繋がり](#)



## インドネシア進出サポート公式サイト

インドネシア進出準備から撤退までの要点を簡潔にまとめたサイト(Googleトップランキング)

<https://www.hmkt.jp/>

## インドネシア最新情報ブログ

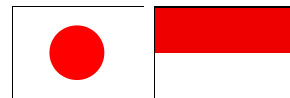
あらゆる分野での情報を毎日、どんなメディアよりも早く紹介

<http://blog.livedoor.jp/kojindonesia/>

## インドネシア進出サポートウェブセミナー

公式サイトに掲載されたセミナースライドサンプルの中から、ダウンロード件数の多いもの順に音声解説付きのスライドをアップロードしています

<https://www.youtube.com/channel/UCXghuRz7zRX5jLOXu75rQjQ>



ご清聴ありがとうございました  
ここからは質疑応答です